

# 発祥の地・“みつぎ” より地域包括ケアシステムを考える

地域包括ケアシステムを考える3つの側面

- ①場所（ハード）、②役割（ソフト）、③協働（ハート）

## 発祥の地・“みつぎ” より地域包括ケアシステムを考える

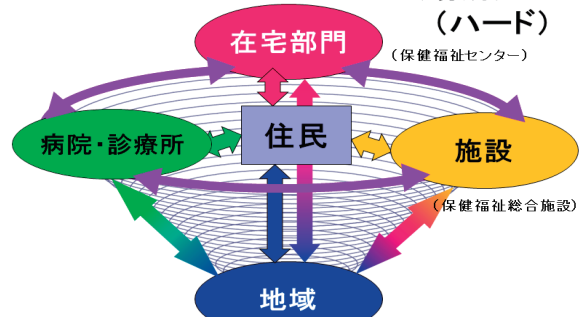
地域包括ケアシステムとは、本人（乳幼児～高齢者）がどんな状態（健康増進・保健、医療、介護、福祉）であろうが、どこ（在宅、施設、病院・診療所）におられようが、本人や家族のニーズ（人生・生活）に専門職（共助）、行政（公助）、地域住民（互助）が連携して継続的に応えていくシステム

地域包括ケアシステムを考える3つの側面（①ハード・②ソフト・③ハート）

### （1）場所（ハード）

- ①在宅
  - ②病院
  - ③（介護）施設
- ⇒ 地域

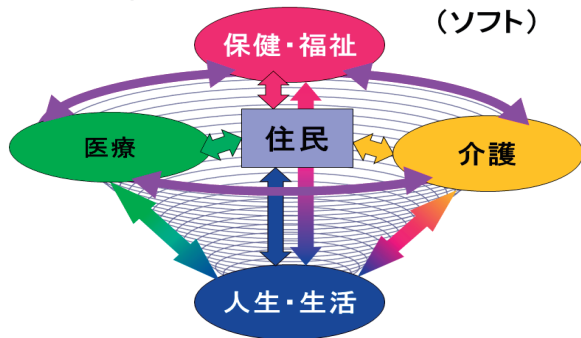
### 地域包括ケアの概念



### （2）役割（ソフト）

- ①保健  
(疾病予防・介護予防・健診)
  - ②医療  
(急性・回復・慢性・緩和)
  - ③介護・福祉
- ⇒人生・生活

### 地域包括ケアの概念

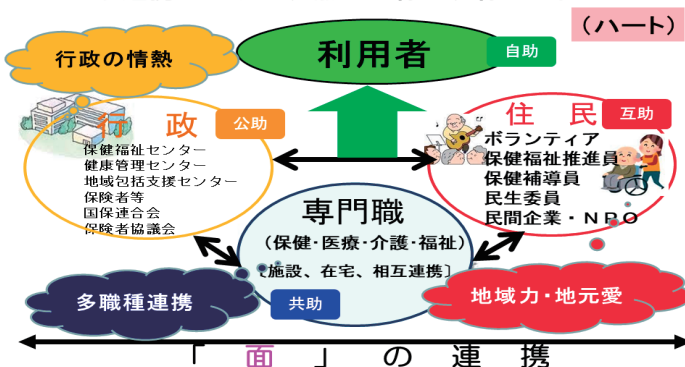


### （3）協働（ハート）

- ①専門職の多職種・多部署連携（共助）
  - ②行政内の連携（公助）
  - ③地域住民のつながり（互助）
- そして、 共助・公助・互助間のネットワーク

### 地域包括ケアシステムのネットワーク

— 地域連携システム、点から線へ、線から面へ —



### 地域包括ケアの概念

(多職種協働・多部署連携)

②専門職として課題に取り組む

(ハート)

